

あなたのお子様も危ない！

身に覚えの無い虐待通報で、突然我が子に会えなくなる!!

① 児童相談所が子供を拉致するって本当！？

児童相談所(児相)は、虐待から子供を守るとされている行政機関ですが、昨今は虐待通報が増え続け、悲しいことに多くの子供が「保護」として家族から引き剥がされています。そして人手不足に陥りパンク状態、予算も足りないというのが現状の問題としてよく取り上げられます。

しかし、少子化のなか本当に「虐待」は増えているのでしょうか？あまり知られていませんが「虐待」判断の基準は次々と下げられ、通報義務が確立されたため、「虐待の可能性」だけで通報が増え続けているのです。その点を考慮すると、一概に虐待が増えているとは言えません。

しかも、日本では、児童相談所は虐待の「可能性」さえあれば、司法判断もなく児相所長の一存で家族から子供を引き剥がして良いことになっており、何年でも子供の人身拘束を続け、親に面会すらさせないことも出来てしまうのです。この子供の権利条約に違反したシステムが、人知れず多くの不必要な「保護」を招いています。

実際によくある通報が「学校や保育園と親が口論となり、腹いせに学校側が虐待通報をする」、「子供が怪我をして病院にいったら、虐待の疑いありと病院が通報する」「子供のみで外遊びをして家から離れたら、警察に保護され、そのまま児相に送り込まれる」など、虐待を裏付ける根拠が無く通報され、学校等からそのまま子供が連れて行かれているのです。

ここで問題となるのが、「ひとまず保護をしてから、調査をする」という児相のスタンスで、「保護」に至るまでの間に親と子への調査はなく、**事実確認無し**に一方的に子供が家族から引き剥がされるのです。大好きな親から離された子供たちは、一体どれだけ傷つくのでしょうか…。この人権侵害が、多くの親達が「拉致」と訴える理由なのです。

そして人身拘束後の調査もずさんな点が多く見受けられ、「虐待を認めたら子供と面会を検討します」と脅しが入ることもあり、親が泣き寝入りさせられるか、納得しなければ家庭復帰を検討せずそのまま放置されるような事例も多く存在しています。

人手不足の原因も、「保護はするが家庭復帰は二の次」という体制が増え続けた結果、年々家庭から引き剥がされる子供の数は増え続け、余計に人手不足が起きているという現状を考慮しなければなりません。

②不必要な「保護」が起きてしまう原因はどこに？

なぜこのような信じられないことが起きてしまうのか・・・。

この問題をおこす一番大きい因子は、**児相の「予算システム」**です。児童相談所は、年度毎に保護見込人数を定めており、児相予算は、子供1人を保護すると少なくとも月額数十万円（職員数等の条件による）とされる「**保護単価**」にこの保護見込数を乗じた額で決まっています。保護見込人数が達成できなければ、児童相談所は予算を使い残すことになるので、年度で決められた人数までは確実に子供を「保護」しなければならない構図が出来上がってしまうのです。

従ってこれは、**児童相談所の人手を増やすことで解決する問題ではありません**。そもそも児童相談所には、家庭復帰させる為のシステムや保護の適正な判断基準が欠如しているのは明白です。親子の引き離しが抱える子供へのリスクを踏まえ、家族支援がしっかり出来る体勢さえ出来ていれば、児童相談所の人手不足は解消し、税金の無駄使いは減り、虐待の有無に関わらず本来の家庭支援が望めるはずで

③児童相談所収容所では、子供たちを囚人扱い

いったん児童相談所に収容された子供達は、私語を禁止され、施設に監禁され、精神薬を飲まされ、体罰を受け、**囚人のような扱い**を受け暮らしています。この人権侵害を内部告発したニュースが、下記です。

◆ニュース every「児童相談所一時保護所の現実 ～子供達の叫び～」

<https://www.youtube.com/watch?v=jqHP-toNifA>

右記 QR コードからも動画を見ることができます。



④支援者、情報を募集します！！

私が声を上げる目的は、日本の児童福祉を、正常に家庭支援をするシステムに戻すことです。その為の問題摘発を行なうに辺り、データ収集や組織体制の構築を現在進めています。問い合わせやご協力頂ける方等いらっしゃいましたら、下記までご連絡をお願いいたします。

児相被害者・活動家 **杉山 祐介**
mail : mamenchiyoshimi@gmail.com TEL : 090-9158-1180